

節目を迎える母校とともに

校友会会長 高井 勝弘



母校は来年度、創立30周年という大きな節目を迎えます。この30年は、卒業生、在学生、教職員、そして地域の皆様の支えによって築かれてきた歴史であり、私たち校友にとっても誇りある歩みであります。現在、在学生たちは学業やスポーツ、地域連携活動など多方面で活躍し、その姿は母校の未来を力強く示しています。この節目の年を、新たな記念行事にとどめるのではなく、次の時代へ向けた新たな飛躍の契機とするのが重要であると考えております。

校友会といたしまして、30周年記念事業を支え、母校のさらなる発展に寄与すべく取り組んでまいります。そのためには、会員の皆様お一人おひとりのお力添えが欠かせません。趣旨にご賛同いただき、記念事業へのご参加ならびにご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。世代を超えて受け継がれてきた「平成国際の精神」を未来へとつなぐために、校友の輪をさらに広げてまいります。

「情報デザイン学部」の始動 — 社会が求めるDX人材の育成へ —

令和8年4月、本学に「情報デザイン学部 情報デザイン学科」が開設されます。すでに設置認可を受け、入学者選抜も開始されており、新学部は本格的に始動しております。

本学部は、数理・AI・データサイエンスを基礎から体系的に学び、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進できる人材の育成を目的としています。現在、デジタル技術の急速な発展に伴い、DXを担う人材の不足は年々深刻な社会課題となっており、企業や自治体をはじめ、あらゆる分野でその需要は高まり続けています。

カリキュラムでは、「農業」「環境」「スポーツ・健康情報」「経営・マーケティング」「文化情報」「国際関係」の6分野から専門性を高めるとともに、約4か月間の長期インターンシップを通じて実践力を養成します。高校で文系を選択していた学生も基礎から学べる体制が整えられており、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得も可能です。

社会がデジタル化へと大きく進む中で、本学部で培われる知識・技能は、IT産業のみならず、製造業、農業、サービス業、自治体など幅広い分野で求められています。卒業後の進路についても、多様な可能性が広がっており、将来性の高い学部として大きな期待が寄せられています。校友会として大きな期待が寄せられています。この新たな挑戦が母校のさらなる発展につながることを願い、引き続き支えてまいります。



学校法人 佐藤栄学園
平成国際大学 校友会会報

英知

第21号

2026年3月発行

スマホについて

平成国際大学 学長 柏木 俊彦



私は、毎日、湘南新宿ラインに乗車して久喜までの約1時間の通勤をしています。逆方向ですので必ず座れます。しかし、気になるのは乗車している若い人の殆どすべてがスマホに夢中で本を読んでいる人がいないということです。

二宮金次郎のように薪を背負いながら本を読む時間をつくる時代ではありませんが、電車の中で読書をしている若い人を見かけないのは残念なことです。ある程度まとまった時間を作れるときは本を読むことを習慣とすることも大切なことです。読書はその人の血肉となるものです。人格を創るものです。新しい時代を築こうとしている過渡期の時代のいま、日本の社会を背負う若い人が吸収力の強い多感な時期に読書をするこの習慣を身に付けないうままスマホの情報を自らの知識として社会に巣立っていくというのは、本人にとっても社会にとっても勿体ないことだと思ってしまう。私が歳をとったせいなのかもしれません。

アヘン戦争勝利という英国の恥辱の歴史

校友会顧問
副学長 浅野 和生



ホットドッグとフライドポテト、炭酸飲料のセットが16ポンド、およそ3400円。イギリスの物価は高い。だが、国立博物館は無料だ。展示物も素晴らしいので、去る2月の研修でリパールの世界博物館、ロ

ンドンの陸軍博物館を見学した。スペイン継承戦争、アルマダ海戦、ナポレオン戦争、クリミア戦争、第一次・第二次世界大戦その他の歴史が、当時の武器、軍服とともに誇らしげに展示されていた。しかし、アヘン戦争の展示はなかった。1842年の南京条約で英国は清国から香港島を割譲させ、香港は150年間、英国のアジア進出の足場、自由貿易港、金融センターとなった。戦争の原因は清国によるアヘンの輸入禁止であり、勝利した英国は香港島の割譲とともにアヘン輸出継続の権利を得た。嫌がる相手にアヘンを売りつけるための戦争は、今では英国の恥と認識されている。英国の国立博物館は、恥辱の歴史は展示しないらしい。

校友会 会員紹介

信頼を積み重ね、成果へ



株式会社 樹徳

矢野 聖斗

大学卒業後、建設資材・建材や水回り商材を扱う卸売会社にて営業職として勤務しています。B to Bの既存取引先を中心に、日々の訪問や迅速な対応を通じて信頼関係の構築に努めてきました。現場ごとの課題を丁寧にヒアリングし、最適な商材や納期を提案することで、工事が円滑に進むよう支えています。大学で培った傾聴力や粘り強さは、相手の意図を正確に汲み取り、継続的な関係づくりが求められる営業の仕事に活かされています。営業職として目標達成が求められる中、成果が数字として表れ、全体1位を獲得できた際の達成感に大きなやりがいを感じています。また、卒業後に取得した宅地建物取引士資格では、大学の授業で学んだ民法の知識が実務理解の基礎となり、日々の業務に役立っています。

法と向き合い、人と向き合う



神奈川県警察

中野 心優

私は2024年に平成国際大学を卒業し、神奈川県警察で働いています。現在は、横浜市内で交番勤務をしていますが、扱う事案は毎当務異なり、学ぶことばかりです。学生時代はずっと文化部で、スポーツ経験がない私は、在学中にスポーツ実習の柔道を履修しました。先生方の親身なご指導により、3年生の春、無事に柔道初段を取得することができました。警察学校の授業や警察署に配置された後も、武道訓練で大学時代の経験が活かされています。また、在学中に学んだ刑法や刑事訴訟法等の知識も、今の仕事に活かされています。警察の全ての業務は法律が根拠となっています。事件対応をするとき、市民と接するとき、警察官の言動は、どの法律や判例に該当するか常に考えなくてはならないのです。警察に助けを求める通報者や交番来訪者は多種多様です。警察の仕事で面白いのは、幅広い市民と接する機会が多い点です。今後とも1人の警察官として、社会が更

地域医療から災害医療への志



長野赤十字病院

松山 愛梨

現在、私は長野赤十字病院に勤務し、日々患者さん一人ひとりに向き合いながら業務に取り組んでいます。医療現場で働く中で、迅速な判断力や周囲と連携する力の重要性を実感しており、将来はDMATの一員として災害医療に貢献したいと考えています。このような思いの原点は、大学時代の経験にあります。大学ではキャリアサークルとボランティアサークルに所属し、コロナ禍という制限のある環境の中でも積極的に活動に参加してきました。子どもも大学のイベント運営や募金活動、子どもたちと関わり、相手の立場に立って行動する姿勢を学びました。また、台湾研修では多様な価値観に触れ、視野を広げることができました。これらの経験を活かし、今後も感謝の気持ちを忘れず挑戦を続けていきたいです。

平成国際大学校友会ホームページや
母校の「基本情報」、「各種証明書」の発行方法などについては、
下記二次元コードを読み取ってご確認ください。



(校友会HP)



(基本情報)



(財務状況)



(各種証明申込・施設利用)

女子野球アジアカップ 4 連覇に貢献 本学学生が特別スポーツ栄誉賞受賞

本学スポーツ健康学部 3年の金田涼々（すず）さんが、女子野球日本代表として2025年10月26日から11月2日に中国・杭州で開催された「第4回BFA女子野球アジアカップ」に出場し、日本の大会4連覇に貢献しました。金田さんは7試合中6試合に外野手として先発出場し、うち2試合では4番打者を務めるなどチームの中心選手として活躍しました。これらの功績が認められ、2026年1月5日、出身地である北海道七飯町から特別スポーツ栄誉賞が授与されました。金田さんは「初めての国際大会で緊張したが、ベストパフォーマンスで戦えた。地元の良い報告ができて誇りに思う」と語っています。本学でも日頃から高い競技力と学業の両立に努めており、今後のさらなる活躍が期待されます。



本学ボクシング部卒業生の躍進と栄光

本学ボクシング部の卒業生が国内外で顕著な活躍を見せています。2016年度法学部卒業の宇津木秀選手は2025年9月にWBOアジアパシフィック・ライト級王座の防衛に成功し、世界戦への期待を高めました。2008年度法学部卒業の新本亜也選手は現役復帰後、国民スポーツ大会で3位入賞を果たしました。また、2016年度法学部卒業の神風藍選手は日本スーパーウエルター級王者に輝き、2017年度法学部卒業の堤聖也選手はWBA世界バンタム級王座の防衛に成功しました。さらに2022年度法学部卒業の與座ディシャーンジュニア選手は全日本社会人選手権大会で2連覇と優秀選手賞を受賞しました。平成国際大学は、卒業後も学生の挑戦と活躍を誇りに思い、今後も継続して応援していきます。



宇津木秀選手



神風藍選手



新本亜也選手



堤聖也選手



與座ディシャーンジュニア選手
(名前の順)

大学データ 令和8年2月末現在

部活動 戦績

◎硬式野球部

- ★春季リーグ戦 2位
- ★秋季リーグ戦 4位

◎陸上競技部

- ★関東学生陸上競技対校選手権大会 二部 4位 (入賞10種目)
- ★東京箱根間往復大学駅伝競争予選会 24位
- ★日本学生陸上競技対校選手権大会 男子 4×100mR 予選5位、110mH 予選5位
- 円盤決勝 15位、5,000m決勝 9位、七種競技 19位

◎サッカー部

- ★JR東日本カップ2025 第99回関東大学サッカーリーグ戦 Norte シーズン優勝 入替リーグ5位
- ★アミノバイタル®カップ2025 第14回 関東大学サッカートーナメント大会 埼玉県予選1位 関東予選 1回戦敗退

◎剣道部

- ★全日本学生剣道選手権・同女子選手権大会 阿部稜大 2回戦 道下晃誠 1回戦 荒木 敬 3回戦 小松崎駿 1回戦 夢沼美紅 2回戦敗退

◎男子柔道部

- ★全日本学生柔道優勝大会 1回戦敗退
- ★グランドスラム東京2025 出場 内藤
- ★全日本学生柔道体重別団体優勝大会 1回戦敗退
- ★全日本学生柔道競技大会(投の形) 2位/伊藤・小野寺
- ★Senior Oceania Open & Cadet and Junior Oceania Cup 3位/内藤

◎女子柔道部

- ★全日本学生柔道形競技大会 優勝
- ★令和7年度全日本学生女子柔道優勝大会 1回戦敗退
- ★令和7年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会 1回戦敗退

◎ウエイトリフティング部

- ★第71回全日本学生個人選手権 女子 71kg級 2位 山村 81kg級 3位 大友
- 男子 55kg級 6位 中村
- ★第71回全日本インカレ 女子 大学対抗 第5位 63kg級 3位 山村 69kg級 3位 富園 +86kg級 3位 下大迫
- 男子 110kg級 5位 小藤

◎女子硬式野球部

- ★第15回全日本大学女子硬式野球選手権記念大会 ベスト12
- ★女子野球アジアカップ優勝 金田

◎男子バレーボール部

- ★関東バレーボール大学選手権大会 春季リーグ準優勝 入替戦敗退 秋季リーグ準優勝 入替戦勝利 2部昇格
- ★東日本バレーボール大学選手権大会 2回戦敗退

◎女子バレーボール部

- ★関東バレーボール大学選手権大会 2部第11位 入替戦敗退 3部降格 秋季リーグ優勝 入替戦勝利 2部昇格
- ★東日本バレーボール大学選手権大会 ベスト32

◎男子バスケットボール部

- ★関東大学バスケットボール選手権大会 ベスト58
- ★関東大学バスケットボール新人戦 予選ブロック敗退
- ★関東大学バスケットボールリーグ 4部総合16位 (残留)

◎ダンス部

- ★第37回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸) 審査員賞 (トップ10)
- ★第38回こうべ全国洋舞コンクール 3位



平成国際大学男子バレーボール部は、20年前に創部され、無敗のまま関東2部リーグに昇格しました。初代監督の松永敏先生からは、「自律」という言葉を部訓としていただきました。「常に自律の精神を養うこと、部活動のみならず学生生活の如何なる状況においても誇りと責任を持ち、自律心に基づいて行動すること」という思いがこめられています。選手たちはこの言葉を胸に、全日本インカレ（全国大会）出場を目標に日々の練習に取り組んでいます。

男子バレーボール部では、選手たちが人間的な成長をすることは非常に重要です。自分たちで目標を定め、その目標を達成できるよう努力すること自体が非常に大切なプロセスとなります。従来のように上下関係の厳しいチーム運営ではなく、学年関係なく意見を言い合える、全員が一丸となってチームを作っていく、これが平成国際大学男子バレーボール部の特徴だと思っています。

関東2部リーグでは、審判やサポートがすぐれたチームに贈られる「ベスト・オブ・サポート



賞」と呼ばれる賞があります。残念ながら2点差で受賞を逃しましたが、あと一步のところまで頑張りました。戦績を残すことも重要ですが、試合以外の場面で貢献することはもっと重要なことだと思います。挨拶・礼儀など当たり前前々を当たり前前々でできる人間を育成し、学校内外から応援されるチームを目指していきます。

創部 20 年 “自律”を胸に歩む男子バレーボール部

男子バレーボール部

男子バレーボール部では、突出したようなスーパースターはいません。高校生までに全国大会を経験した選手が数名いますが、高校からバレーボールを始めた選手もいます。少数精鋭ですが、幅広いレベルの選手たちが一つのコートで汗を流しています。レギュラーとして重責を担う者、選手として活動しながら裏方もこなす者、アナリストとしてチームを支える者、それぞれが部の中で役割を見つけ、活動しています。ありがたいことに、高校の先生方から練習試合に誘っていただいたり、保護者の方が試合の応援に来てくださったり、と多くの方々の支えを感じております。近年では、関東2部リーグと関東3部リーグを行き来する戦績ですが、目標を達成し、支えていただいた多くの方々に恩返しができるよう日々精進してまいります。

賞」と呼ばれる賞があります。残念ながら2点差で受賞を逃しましたが、あと一步のところまで頑張りました。戦績を残すことも重要ですが、試合以外の場面で貢献することはもっと重要なことだと思います。挨拶・礼儀など当たり前前々を当たり前前々でできる人間を育成し、学校内外から応援されるチームを目指していきます。



キャンパス今昔物語

● 新校舎ができるまで — 建設の軌跡 ●

建設前 更地



建設前 地鎮祭



工事中 1



工事中 2



新校舎完成後には、今回掲載した建設前・工事中の様子とともに、ビフォーアフターとして改めてご紹介する予定です。どうぞご期待ください。